

全ト協 令和5年中 事業用トラックが第1当事者となった死亡・重傷事故 交通事故統計分析結果(発生地別) (概要)

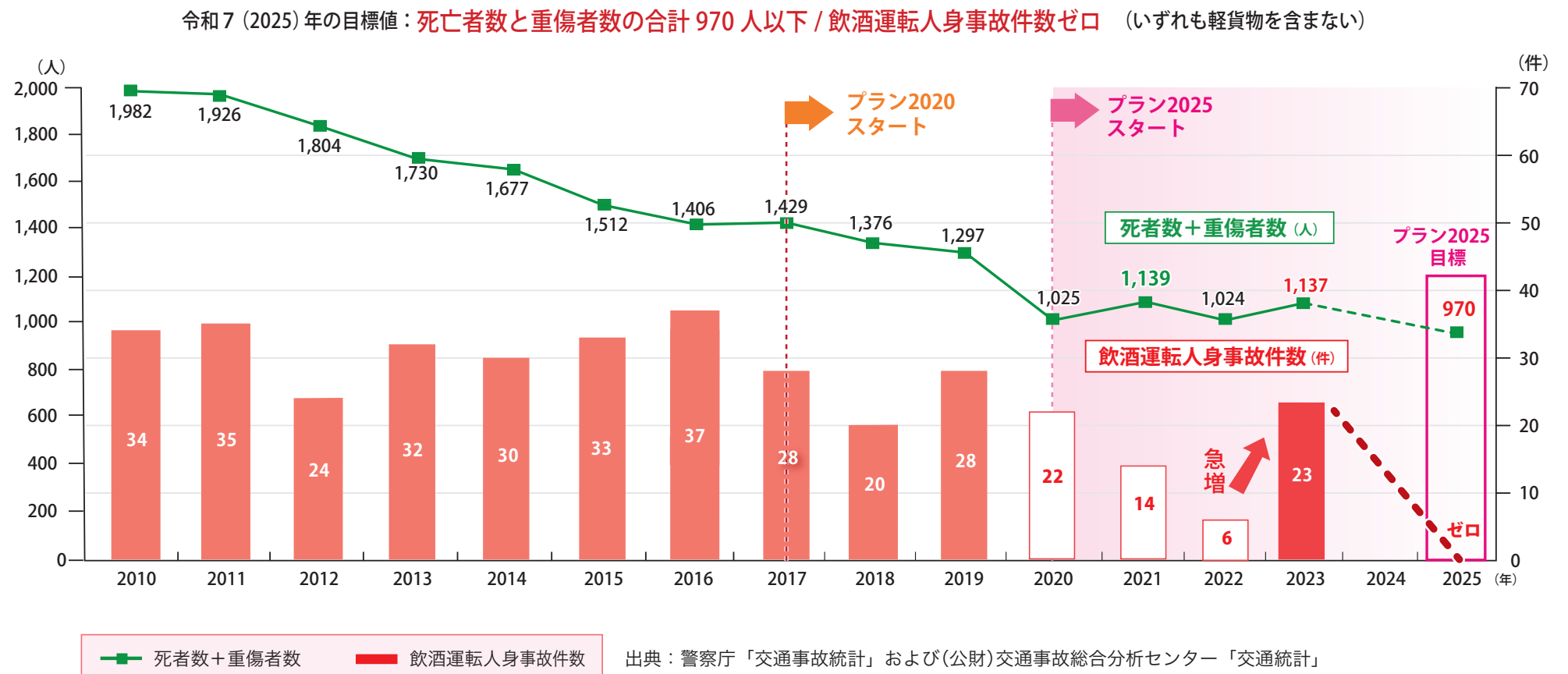
この交通事故統計は、警察庁が公表した令和5年中における事業用トラック(軽貨物を含まない)が第1当事者となる交通事故を、事故類型別、車両区分別等、多角的視点から分析したものです。こうした分析結果をもとに、同種事故の再発防止に向けた取り組みを強化しましょう。

「トラック事業における総合安全プラン2025」目標値と現況

令和5年中の死亡・重傷事故の合計件数は1,062件、死者数・重傷者数の合計は1,137人で、「トラック事業における総合安全プラン2025」の目標である「970人」を達成できていない。

事業用トラック1万台当たりの死者数と重傷者数の合計は8.6人で、目標である「6.5人」を2.1人上回っている。

飲酒運転による人身事故件数は23件と、「プラン2025」スタート以来の最高値となり、危機的状況にある。

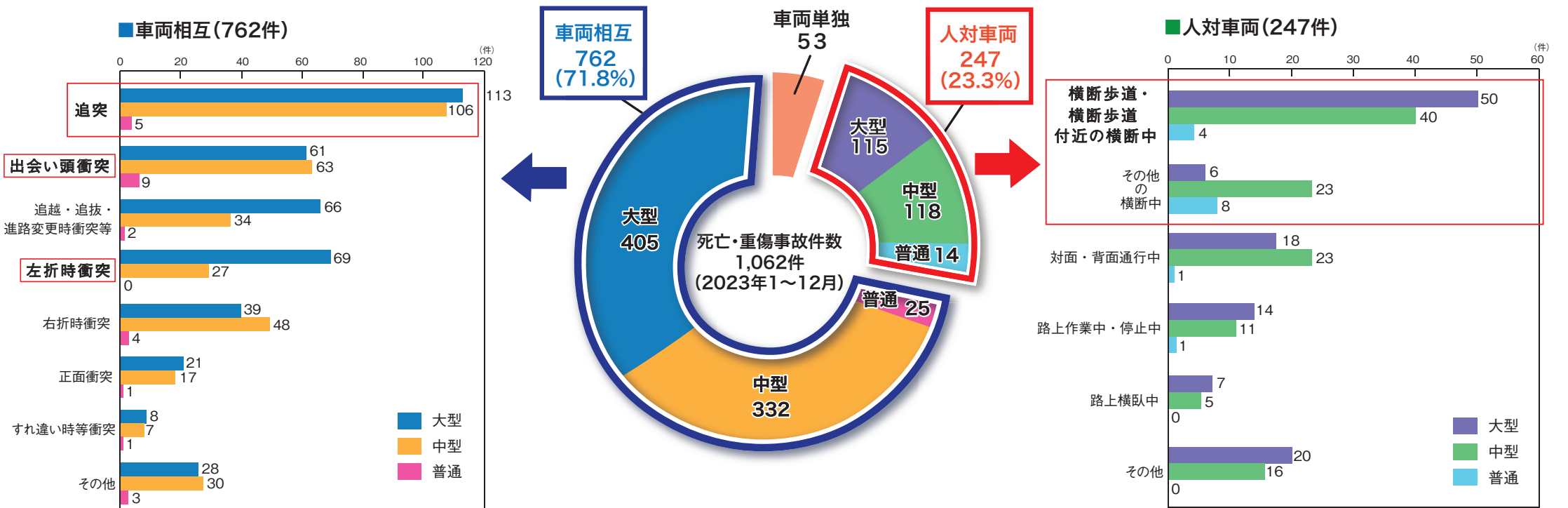


事故類型別(車両相互・人対車両)

「車両相互」が最も多く762件(71.8%)、次いで「人対車両」が247件(23.3%)。

■「車両相互」
車種別で見ると、大型は「追突」(113件)と「左折時衝突」(69件)が、中型は「追突」(106件)と「出会い頭衝突」(63件)が多い。

■人対車両
どの車種でも「横断歩道・横断歩道付近の横断中」が突出し、「その他の横断中」と合わせた「横断中」合計が「人対車両」全体の5割強を占める。



交差点における死亡・重傷事故(対歩行者・対自転車別)

事業用トラックが第1当事者となる交差点における死亡・重傷事故(394件)は、追突事故(224件)の1.8倍。

■「左折時」: 9割近くが対自転車(77件)。対歩行者の6割、対自転車の8割近くが大型車。

■「右折時」: 8割近くが対歩行者(61件)。対歩行者の5割強、対自転車の4割強が大型車。

■「直進時」: 6割以上が対自転車(51件)。対自転車の5割近くが大型車。

